

ウィークリーレポート
2017年11月27日号

■ 主要指標の動き

	先週末	騰落率				
		11/24	1週間	1か月	3か月	
株式関連	日経平均株価	22,550.85	0.69%	3.42%	16.52%	
	TOPIX	1,780.56	0.95%	1.35%	11.83%	
	JPX日経インデックス400	15,774.98	0.72%	1.34%	11.78%	
	NYダウ(米)	23,557.99	0.86%	0.50%	8.15%	
	S&P500(米)	2,602.42	0.91%	1.30%	6.70%	
	FTSE100(英)	7,409.64	0.39%	▲1.55%	0.03%	
	DAX(ドイツ)	13,059.84	0.51%	0.36%	7.22%	
	香港 ハンセンH株	11,908.19	2.58%	4.41%	7.76%	
	中国 上海総合	3,353.82	▲0.86%	▲1.02%	2.52%	
	インド ムンバイSENSEX	33,679.24	1.01%	3.29%	6.59%	
	ブラジル ポベスバ	74,157.38	0.98%	▲2.87%	4.25%	
	債券関連	日本10年国債利回り	0.025%	▲0.010	▲0.045	0.005
		米国10年国債利回り	2.342%	▲0.002	▲0.077	0.148
ドイツ10年国債利回り		0.360%	▲0.001	▲0.116	▲0.016	
米国ハイイールド債券		385.17	0.37%	▲0.48%	1.33%	
その他	東証REIT指数	1,682.92	1.97%	2.17%	▲0.81%	
	S&P先進国REIT指数	264.75	0.59%	2.53%	2.29%	
	S&P香港REIT指数	405.38	0.95%	4.70%	8.39%	
	S&PシンガポールREIT指数	334.78	0.85%	1.43%	4.11%	
	ブルームバーグ商品指数	87.00	0.27%	1.11%	4.18%	
	NY金先物	1,291.80	▲0.70%	1.06%	▲0.02%	
	アレリアンMLPインデックス	1,147.05	▲0.61%	▲1.62%	▲3.90%	

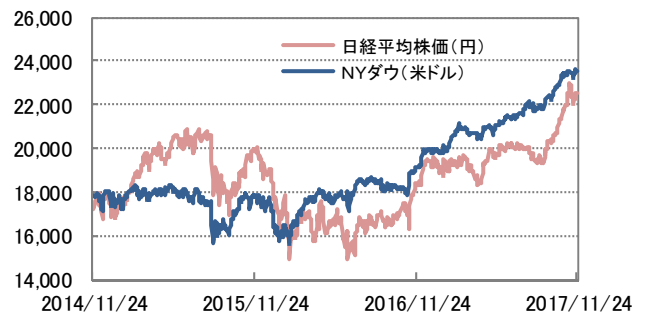
	先週末	変化率			
		11/24	1週間	1か月	3か月
為替レート(対円)	米ドル	111.47	▲1.33%	▲1.68%	2.11%
	ユーロ	131.95	▲0.90%	▲1.00%	2.37%
	英ポンド	148.22	▲0.65%	▲1.02%	6.11%
	豪ドル	84.92	▲0.96%	▲4.13%	▲1.62%
	カナダドル	87.59	▲1.16%	▲2.42%	0.63%
	ノルウェー・クローネ	13.69	▲0.58%	▲3.39%	▲1.30%
	ブラジル・リアル	34.58	0.35%	▲1.28%	▲0.43%
	香港ドル	14.27	▲1.38%	▲1.86%	2.29%
	シンガポール・ドル	82.81	▲0.67%	▲0.60%	3.23%
	中国・人民元	16.93	▲0.65%	▲0.82%	3.23%
	インド・ルピー	1.74	0.00%	▲1.14%	1.16%
	インドネシア・ルピア	0.83	▲1.19%	▲1.19%	1.22%
	トルコ・リラ	28.38	▲2.94%	▲7.16%	▲9.53%
	南アフリカ・ランド	8.03	0.63%	▲3.02%	▲3.25%
メキシコ・ペソ	5.98	0.84%	0.50%	▲3.24%	

※債券の騰落率は利回りの変化幅
 ※米国ハイイールド債券はICE BofAメリルリンチ・US・ハイイールド・BB-B・インデックス
 ※東証REIT指数は配当なし
 ※S&P先進国REIT指数は除く日本、米ドルベース、配当なし
 ※S&P香港REIT指数、S&PシンガポールREIT指数は米ドルベース、配当なし
 ※NY金先物は1トロイオンス当たりの米ドル建価格
 ※アレリアンMLPインデックスは米ドルベース、配当込み
 ※インドネシア・ルピアは100通貨単位での表示

■ 株式市場

日経平均株価は上昇。米ドル/円や欧米株式の動きに振られる展開となったが、週末は次期日銀総裁人事巡る思惑から買い姿勢が強まる場面があった。
 NYダウは3週ぶりに上昇。世界的に株式市場が底堅く推移する中、市場心理が強気に傾き、一時約2週間ぶりに過去最高値を更新した。週央以降は感謝祭の休日を挟んで利益確定目的や持ち高調整の売りが重石となった一方、年末商戦が好調と報じられたことが支えとなった。

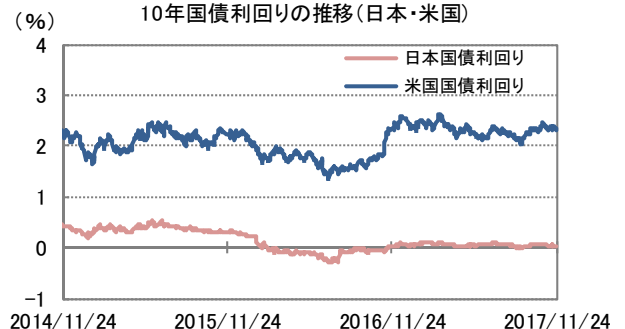
日経平均株価とNYダウの推移



■ 債券市場

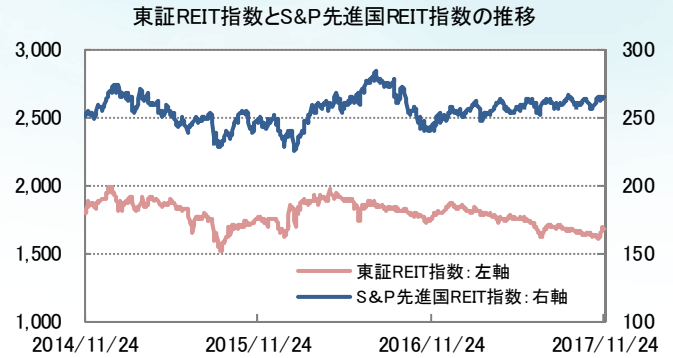
日本10年国債利回りは低下(価格は上昇)。超長期債を中心に2018年度の国債発行が減額されるとの観測が強まり、債券需給の引き締まりが意識された。
 米国10年国債利回りは概ね横ばい。欧米株式の上昇を受けて売りが先行したが、FRB(米連邦準備理事会)議長の発言やFOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨の内容から先行きの米利上げペースは緩やかとの見方が強まり反発した。週末は欧州国債の下落を受けて米国国債にも売りが波及した。

10年国債利回りの推移(日本・米国)



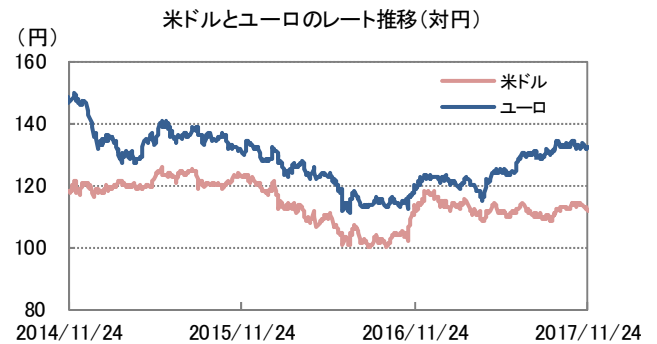
■ その他の資産

国内REIT市場は大幅続伸。一時約3カ月ぶりの高値を回復した。海外REIT市場は2週ぶりに上昇。原油先物市場(WTI)は上昇。米原油在庫の減少や主要産油国による減産延長への期待から原油需給の改善期待が高まった。金先物は下落。週初に米ドルが上昇した場面で売りが膨らんだ。



■ 外国為替市場

米ドル/円、ユーロ/円ともに下落。ドイツで総選挙後に行われていた3党による連立協議が決裂したと伝わり、欧州の政治リスクに対する警戒感を背景に円高・ユーロ安が進行。対米ドルでも低リスク通貨とされる円が買われた。米長期金利低下を受けて円買い・米ドル売りが強まった面もあった。週央以降はトルコ・リラ/円が続落。トルコの対米関係悪化などを懸念したトルコ・リラ売りが続いた。週末の海外市場では、欧州経済の拡大観測やドイツ政治の先行き不透明感の後退を背景にユーロが急反発した。



■ 主要経済指標

【国内】

貿易統計(10月)・・・輸出は前年同月比+14.0%、輸入は同+18.9%。貿易収支は5カ月連続の黒字。
全国百貨店売上高(10月)・・・前年同月比▲1.8%、3カ月ぶりに減少。2週連続の台風などが影響した。

【海外】

<米国>

中古住宅販売件数(10月)・・・前月比+2.0%の年率換算548万戸、4カ月ぶりの高水準を回復。
耐久財受注(10月)・・・航空機を除く非国防資本財は前月比▲0.5%、1年1カ月ぶりの大幅な落ち込み。

<欧州>

ユーロ圏総合PMI(購買担当者指数)(11月)・・・前月から+1.5ポイントの57.5、6年7カ月ぶりの高水準。

■ 今週の焦点

【国内】

11月30日に10月の鉱工業生産指数、12月1日に10月の全国消費者物価指数が発表されます。

【海外】

米国では11月27日に10月の新築住宅販売件数、30日に10月の個人消費支出デフレーター、12月1日には11月のISM(米供給管理協会)製造業景況指数が発表されます。

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

[投資に関する留意事項]

◎投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債など値動きのある有価証券等を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

◎投資信託に係る費用について

投資信託にご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

1. 購入時に直接ご負担いただく費用 (1) 購入時手数料 上限 3.78%(税込) (2) 信託財産留保額 上限 0.1%

2. 換金時に直接ご負担いただく費用 (1) 信託財産留保額 上限 0.5%

3. 保有期間中に間接的にご負担いただく費用 (1) 信託報酬 上限年率 2.052%(税込、概算)

※ファンド・オブ・ファンズ形式の場合は、一部を除き、投資信託が投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。

※一部の投資信託および投資信託証券には運用実績等に基づき計算される成功報酬額が別途かかる場合があります。この場合、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合がありますが、成功報酬額は運用実績等により変動するため、上限額等を事前に表示することができません。

4. その他費用 (1) 上記以外に投資信託の保有期間等に応じてご負担いただく費用(*)があります。これらの費用は、運用状況等により変動するため、料率、上限額等を事前に表示することができません。

(*) 監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用、投資信託証券の解約に伴う信託財産留保額、および投資信託が実質的に投資対象とする仕組み債券の価格に反映される費用等

上記の費用の合計額については、お客様が投資信託を保有される期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に表示することができません。

詳細は投資信託説明書(交付目論見書)、契約締結前交付書面等でご確認ください。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友トラスト・アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、徴収する夫々の費用における最高の料率(作成日現在)を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、夫々の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧ください。

◆設定・運用は



商号 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。